

## 平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算（4 月～9 月累計）説明資料

### 【当第 2 四半期業績の概要】

1. 当社グループの受注高につきましては、中国経済の減速や世界的な株安等の影響により先行不透明な状況がみられたものの、政府の継続した経済政策や日本銀行の金融緩和策による下支えにより、景気は緩やかに回復基調で推移した環境において、グループの総力を挙げ受注確保に向けて営業活動を展開した結果、12,272 百万円（前年同四半期比 11.6%増）となりました。

受注高の内訳について、土木事業は主力である橋梁工事において、多様化する総合評価落札方式への対応を一層強化し営業活動を展開した結果、8,166 百万円（前年同四半期比 27.0%増）となりました。

一方、建築事業は、回復基調が継続しているマンション事業や政府が推進する学校施設及び住宅の耐震補強事業の営業強化に努めましたが、価格競争が激化していることもあり、当社の独自商品である「FR 板等」の受注が大幅に減となり、3,868 百万円（前年同四半期比 10.6%減）に留まりました。

また、不動産賃貸事業は競争が激化するなか、テナント獲得に向け営業活動を展開した結果、若干微減はしたものの 235 百万円（前年同四半期比 0.4%減）となりました。

2. 当社グループの売上高につきましては、当社の繰越工事が前期に比べ 38 億円減少しましたが、工事が順調に進捗したことから 11,263 百万円（前年同四半期比 7.2%増）となりました。

売上高の内訳は、土木事業 6,891 百万円（前年同四半期比 2.8%減）、建築事業 4,253 百万円（前年同四半期比 28.6%増）、不動産賃貸事業 117 百万円（前年同四半期比 1.9%増）であります。

3. 当社グループの損益につきましては、当社の売上高が前期に比べ 7 億円程度増加したことなどから、営業利益は 101 百万円（前年同四半期比 30.6%増）、経常利益は 87 百万円（前年同四半期比 20.0%増）、四半期純利益は 57 百万円（前年同四半期比 19.7%増）となりました。

当第 2 四半期（4 月～9 月累計）連結業績と前年同四半期連結業績との比較 （単位：百万円）

項目	前四半期実績	当四半期実績	増減額	増減率	備考
受注高	10,993	12,272	1,278	11.6%	増加
売上高	10,509	11,263	753	7.2%	増収
営業利益	77	101	23	30.6%	増益
経常利益	72	87	14	20.0%	増益
四半期純利益	48	57	9	19.7%	増益

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 【参 考】

### ① セグメント別受注高、売上高、繰越高（連結）

#### ○前期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	19,748	79.0	15,799	74.9	△ 3,949	△ 20.0
建築事業	5,249	21.0	5,305	25.1	56	1.1
不動産賃貸事業	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
合 計	24,998	100.0	21,105	100.0	△ 3,892	△ 15.6

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

#### ○受注高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	6,428	58.5	8,166	66.5	1,737	27.0
建築事業	4,328	39.4	3,868	31.5	△ 459	△ 10.6
不動産賃貸事業	236	2.2	235	1.9	△ 1	△ 0.4
その他	-	-	1	0.0	1	-
合 計	10,993	100.0	12,272	100.0	1,278	11.6

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

#### ○売上高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	7,087	67.4	6,891	61.2	△ 196	△ 2.8
建築事業	3,306	31.5	4,253	37.8	946	28.6
不動産賃貸事業	115	1.1	117	1.0	2	1.9
その他	-	-	1	0.0	1	-
合 計	10,509	100.0	11,263	100.0	753	7.2

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

#### ○次期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	19,090	74.9	17,074	77.2	△ 2,015	△ 10.6
建築事業	6,271	24.6	4,921	22.3	△ 1,349	△ 21.5
不動産賃貸事業	121	0.5	117	0.5	△ 3	△ 2.6
その他	-	-	0	0.0	0	-
合 計	25,482	100.0	22,114	100.0	△ 3,367	△ 13.2

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

## ② 個別業績の概要

(1) 当第2四半期（4月～9月累計）個別業績と前年同四半期個別業績との比較（単位：百万円）

項目	前四半期実績	当四半期実績	増減額	増減率	備考
受注高	10,464	11,783	1,318	12.6%	増加
売上高	10,147	10,871	724	7.1%	増収
営業利益	80	75	△5	△6.3%	減益
経常利益	82	68	△13	△16.0%	減益
四半期純利益	57	48	△9	△16.6%	減益

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) セグメント別受注高、売上高、繰越高（個別）

### ○前期繰越高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	19,743	79.0	15,798	74.9	△ 3,945	△ 20.0
建築事業	5,249	21.0	5,305	25.1	56	1.1
不動産賃貸事業	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
合計	24,993	100.0	21,104	100.0	△ 3,888	△ 15.6

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

### ○受注高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	5,900	56.4	7,677	65.2	1,777	30.1
建築事業	4,328	41.4	3,868	32.8	△ 459	△ 10.6
不動産賃貸事業	236	2.3	235	2.0	△ 1	△ 0.4
その他	-	-	1	0.0	1	-
合計	10,464	100.0	11,783	100.0	1,318	12.6

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

### ○売上高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	6,725	66.3	6,499	59.8	△ 225	△ 3.4
建築事業	3,306	32.6	4,253	39.1	946	28.6
不動産賃貸事業	115	1.1	117	1.1	2	1.9
その他	-	-	1	0.0	1	-
合計	10,147	100.0	10,871	100.0	724	7.1

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

### ○次期繰越高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	18,917	74.7	16,975	77.1	△ 1,941	△ 10.3
建築事業	6,271	24.8	4,921	22.4	△ 1,349	△ 21.5
不動産賃貸事業	121	0.5	117	0.5	△ 3	△ 2.6
その他	-	-	0	0.0	0	-
合計	25,310	100.0	22,015	100.0	△ 3,294	△ 13.0

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

## 【平成 28 年 3 月期通期の見通し】

1. 当社グループの受注高につきましては、土木事業は総合評価落札方式への更なる対応強化や連結子会社のPCマクラギ事業への積極的な営業展開により受注確保に努めます。

また、建築事業は回復基調が継続しているマンション事業や増加が見込まれる住宅等の耐震補強事業の営業を更に強化することで、全体としては 250 億円程度を見込んでおります。

受注高の内訳は、土木事業 167 億円、建築事業 81 億円、不動産賃貸事業 2 億円を見込んでおります。

2. 当社グループの売上高につきましては、当社の繰越工事が前期に比べ 38 億円減少したものの、工事は順調に進捗していることから 257 億円（前期比 5.7%増）程度を見込んでおります。

売上高の内訳は、土木事業 163 億円、建築事業 92 億円、不動産賃貸事業 2 億円であります。

3. 当社グループの損益につきましては、受注工事の状況により売上高が下振れすることも考えられ、また前期に採算性の良い物件が集中したことによる反動や労務費及び資機材費の高騰などから売上総利益率が低下する見通しですが、「安全・品質・コスト」の3点を重点項目として、原価管理の徹底、施工や生産の省人化・省力化などを一層進めることで、営業利益は 540 百万円、経常利益は 520 百万円、当期純利益 450 百万円程度を見込んでおります。

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想と当期実績との比較

(単位：百万円)

項目	前期実績	当期予想	増減額	増減率	備考
受注高	20,496	25,000	4,503	22.0%	3期振りの増加
売上高	24,389	25,770	1,380	5.7%	3期連続の増収
営業利益	768	540	△228	△29.8%	2期振りの減益
経常利益	752	520	△232	△30.9%	2期振りの減益
当期純利益	643	450	△193	△30.0%	2期連続の減益

## 【参考】

平成 28 年 3 月期通期個別業績予想と前期業績との比較

(単位：百万円)

項目	前期実績	当期予想	増減額	増減率	備考
受注高	19,651	24,200	4,548	23.1%	3期振りの増加
売上高	23,540	24,960	1,419	6.0%	3期連続の増収
営業利益	751	520	△231	△30.8%	2期振りの減益
経常利益	748	510	△238	△31.9%	2期振りの減益
当期純利益	641	440	△201	△31.4%	2期連続の減益